



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6408 URL <https://www.oguraclutch.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 竹内 修 (TEL) 0277-54-7101
 兼グローバル財務部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,206	1.5	29	—	274	—	160	—
2022年3月期第1四半期	10,058	23.5	△57	—	△16	—	△69	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 727百万円(94.8%) 2022年3月期第1四半期 373百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	107.32	—
2022年3月期第1四半期	△46.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	45,958	14,724	32.0	9,827.59
2022年3月期	46,773	14,076	30.1	9,391.62

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 14,708百万円 2022年3月期 14,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期(予想)配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,800	10.0	650	—	540	—	280	—	187.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,553,323株	2022年3月期	1,553,323株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	56,691株	2022年3月期	56,668株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,496,649株	2022年3月期1Q	1,496,782株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、原材料・エネルギーなどの高騰や世界的な半導体不足に加え、中国でのロックダウン及びウクライナ情勢の長期化により、サプライチェーンに混乱が生じるなど依然として不透明な状況が続いております。

日本経済においても、各種政策の効果や行動制限の緩和などにより景気の持ち直しの動きが見られましたが、半導体不足の影響、資源高や米国の金融引き締め等を受けた急激な円安による物価上昇などが懸念される状況となっております。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、10,206百万円と前年同期と比べ148百万円の増加(前年同期比1.5%増)となりました。営業利益は29百万円(前年同期は57百万円の営業損失)、経常利益は274百万円(前年同期は16百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は160百万円(前年同期は69百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、半導体不足などによる世界的な自動車生産の減少や中国でのコロナ政策による影響も受け、売上が減少しました。

その結果、売上高は6,938百万円と前年同期と比べ346百万円の減少(前年同期比4.8%減)となり、セグメント損失は115百万円(前年同期は71百万円のセグメント損失)となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、半導体不足の影響を受けたものの、モーター、昇降・運搬、変・減速機、シャッター、ロボットなどの各業界向けの売上が増加しました。

その結果、売上高は3,143百万円と前年同期と比べ615百万円の増加(前年同期比24.4%増)となり、セグメント利益は148百万円と前年同期と比べ146百万円の増加(前年同期は2百万円のセグメント利益)となりました。

③ その他

その他では、売上高が125百万円と前年同期と比べ120百万円の減少(前年同期比49.0%減)となり、セグメント損失は4百万円(前年同期は12百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、現金及び預金の減少等により30,731百万円(前期末比1,217百万円減)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の増加等により15,226百万円(前期末比402百万円増)となりました。その結果、資産合計は45,958百万円(前期末比814百万円減)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、短期借入金金の減少等により24,989百万円(前期末比1,208百万円減)となり、固定負債は主に、長期借入金金の減少等により6,244百万円(前期末比253百万円減)となりました。その結果、負債合計は31,233百万円(前期末比1,462百万円減)となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定の増加等により14,724百万円(前期末比648百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,014	5,628
受取手形及び売掛金	8,129	9,183
電子記録債権	2,332	2,416
商品及び製品	4,622	4,814
仕掛品	4,562	4,818
原材料及び貯蔵品	3,186	3,279
その他	1,208	721
貸倒引当金	△107	△129
流動資産合計	31,948	30,731
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,803	4,882
その他(純額)	7,141	7,343
有形固定資産合計	11,944	12,225
無形固定資産		
その他	610	860
無形固定資産合計	610	860
投資その他の資産	2,269	2,140
固定資産合計	14,824	15,226
資産合計	46,773	45,958
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,307	3,781
電子記録債務	4,617	4,703
短期借入金	14,872	13,924
未払法人税等	135	114
賞与引当金	310	109
その他	1,954	2,354
流動負債合計	26,197	24,989
固定負債		
長期借入金	4,761	4,501
繰延税金負債	474	419
役員退職慰労引当金	767	752
退職給付に係る負債	197	203
その他	298	368
固定負債合計	6,498	6,244
負債合計	32,696	31,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,759	1,760
利益剰余金	9,909	9,995
自己株式	△351	△351
株主資本合計	13,177	13,263
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	540	464
為替換算調整勘定	237	882
退職給付に係る調整累計額	101	98
その他の包括利益累計額合計	878	1,445
非支配株主持分	20	16
純資産合計	14,076	14,724
負債純資産合計	46,773	45,958

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	10,058	10,206
売上原価	8,482	8,439
売上総利益	1,575	1,767
販売費及び一般管理費	1,632	1,738
営業利益又は営業損失(△)	△57	29
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	22	30
為替差益	16	234
不動産賃貸料	17	13
その他	37	29
営業外収益合計	95	312
営業外費用		
支払利息	38	46
手形売却損	1	4
租税公課	8	9
その他	6	7
営業外費用合計	54	67
経常利益又は経常損失(△)	△16	274
特別損失		
固定資産除却損	—	13
特別損失合計	—	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16	261
法人税、住民税及び事業税	64	141
法人税等調整額	△28	△40
法人税等合計	35	101
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52	159
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69	160

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52	159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84	△76
為替換算調整勘定	514	646
退職給付に係る調整額	△4	△2
その他の包括利益合計	426	567
四半期包括利益	373	727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329	726
非支配株主に係る四半期包括利益	44	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,285	2,527	9,813	245	10,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	8	20	—	20
計	7,297	2,536	9,833	245	10,078
セグメント利益又は損失(△)	△71	2	△69	12	△57

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△69
「その他」の区分の利益	12
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△57

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,938	3,143	10,081	125	10,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	4	18	—	18
計	6,952	3,147	10,100	125	10,225
セグメント利益又は損失(△)	△115	148	33	△4	29

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	33
「その他」の区分の損失(△)	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	29

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
日本	2,091	1,640	3,732	220	3,953
中国	649	687	1,336	—	1,336
アジア(中国除く)	1,717	95	1,813	0	1,813
アメリカ	1,923	50	1,974	22	1,996
欧州	764	10	775	0	775
その他	138	42	181	1	183
顧客との契約から生じる収益	7,285	2,527	9,813	245	10,058
外部顧客への売上高	7,285	2,527	9,813	245	10,058

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
日本	2,038	1,943	3,981	115	4,097
中国	500	866	1,367	—	1,367
アジア(中国除く)	1,746	135	1,881	0	1,882
アメリカ	1,808	119	1,928	3	1,932
欧州	706	8	714	2	716
その他	138	70	208	2	210
顧客との契約から生じる収益	6,938	3,143	10,081	125	10,206
外部顧客への売上高	6,938	3,143	10,081	125	10,206

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。